



学校評価保護者アンケートの結果について

学校評価保護者アンケートにご協力いただきありがとうございました。学校評価保護者アンケートについて以下の通りまとめましたので、ご一読ください。結果を真摯に受け止め、今後の本校の教育活動に活かしていきたいと考えます。皆様からいただいたご意見・ご要望については、学校職員全体で共有するとともに、改善に向けて努力をしていきたいと考えます。検討課題とさせていただいている内容もありますが、ご理解をいただきたいと思います。ご不明な点や回答に対する更なるご意見などがありましたら、教頭もしくは担任を通じてお寄せください。

I 保護者アンケートの概要

A：よくあてはまる B：ややあてはまる C：あまりあてはまらない D：あてはまらない E：わからない(%)

	AB割合	CD割合
①学校に誇りを持ち、喜んで通学している。	76.7%	18.1%
②互いに協力し、頑張っていることを認め合っている。	79.8%	13.0%
③命の大切さや仲間の大切さについて指導している。	68.9%	19.2%
④お互いに協力しながら、個々の生徒に合った適切な指導に当たっている。	59.6%	29.5%
⑤指導に対して、生徒も素直に受け入れている。	61.1%	29.5%
⑥将来の生き方や進路について適切に指導している。	63.2%	19.2%
⑦施設や環境は、教育環境にふさわしく管理されている	77.2%	16.1%
⑧先生は、授業改善・学力向上に努めている。	58.3%	31.8%
⑨授業が分かりやすく、生徒が楽しく学んでいる。	47.9%	39.6%
⑩生徒は、家庭学習の習慣ができています。	69.9%	28.0%
⑪生徒は、きちんとあいさつをすることができる。	77.2%	20.2%
⑫生徒は、マナーやルールを守って行動している。	73.1%	21.8%
⑬生徒は、学校行事を楽しみにしている。	93.2%	5.8%
⑭学校・学年・学級だより、HP等で情報を伝えている。	89.1%	9.8%
⑮授業参観、PTA活動等に積極的に参加している。	54.9%	43.0%
⑯気軽に学校へ連絡することができる。	61.7%	35.8%

1 学校生活全般について(①～⑦の項目)※肯定的評価(A+Bの割合)を主に考察。

「学校生活全体について」では、「①生徒は、学校に誇りを持ち、喜んで通学している」「②生徒は互いに協力し、頑張っていることを認め合っている」「⑦墨坂中学校の施設や環境は、教育環境にふさわしく管理されている」の肯定的評価は75%以上の数値を示しているが、「④お互いに協力しながら、個々の生徒に合った適切な指導に当たっている。」「⑤指導に対して、生徒も素直に受け入れている。」「⑥将来の生き方や進路について適切に指導している。」は今後の課題と考えます。職員一同「適切な指導と連携」を大切に、生徒一人ひとりが大切にされていることを実感できる指導をこれまで以上に心がけていきたいと思っております。

2 生徒の学習や学校での活動について(⑧～⑬の項目)

「学習について」では、大きな課題が残る結果となりました。「⑩生徒は、復習や課題の提出など、家庭学習の習慣ができています」の数値は70%程度であるが、「⑧先生は、授業改善・学力向上に努めている」「⑨授業が分かりやすく、生徒が楽しく学んでいる」の数値が低く、更なる改善が必要です。この結果を真摯に受け止め、指導者側の課題として、生徒が主体的に学び、「わかった」「できた」と実感できる授業をいっそう積み重ねていきたいと考えます。今後も、

この結果と、各種調査結果との相関関係を見つめながら、学力向上を引き続き第一の課題と考え、継続して努力していきたいと思えます。

次に「生活面」では、「⑬生徒は、学校行事を楽しみにしている」が93%という高い数値を示し、行事に対する満足度の高いことが伺えます。「⑪生徒は、きちんとあいさつをすることができる」「⑫生徒は、マナーやルールを守って行動している」についても70%以上の数値ですが、あいさつやマナー等は学校生活で大切な部分と考えますので、さらに高い肯定的評価が得られるように指導を重ねていきたいと思えます。

3 家庭と学校との連携のついて（⑭～⑯の項目）

「⑭学校の教育方針や情報などが、学校日より、学年日より、学級日より等で保護者に分かりやすく伝えられている」の肯定的評価は昨年度より大きく伸び、高い数値をいただいています。本年度はホームページをリニューアルしたり、「学級通信」「学年通信」「学校だより」等で定期的に学校の情報を家庭に伝えたりしてきましたが、今後も継続していきたいと思えます。「⑯知りたいことや相談したいことがあったとき、気軽に学校へ連絡することができる」については60%程度にとどまり、「⑮保護者は学校の授業参観、PTA活動等に積極的に参加している」については、60%を大きく下回っています。より気軽に学校へ相談しやすい関係づくり、授業参加やPTA活動に積極的に参加していただけるような工夫と呼びかけをしていきたいと思えます。

II 学校評価保護者アンケートのご意見・ご要望から

ご意見ご要望ありがとうございます。皆様の貴重なご意見を真摯に受けとめ、評価をいただいたことはこれからも継続し、課題については検討を重ね、改善をしていきます。なお、回収期間についてはご迷惑をおかけし、すみませんでした。また、ご意見ありがとうございます。

なお、いただいたご意見はいくつかをまとめて回答させていただきます。

1 学校生活全般について

Q 下級生は上級生の態度や精神をよく見ています。「ああいう3年生になりたい」「今度はあの人のようにやってみよう」「墨坂祭の企画に携わってみよう」などと、上級生を良いモデルとしてとらえるような雰囲気が出てきていると思えます。大事にしていきたいところだと考えます。

A ありがとうございます。生徒会・委員会活動を通して、下級生が3学年の姿を見て引き継いでくれている前向きな雰囲気、よき伝統を今後も大切にしていきたいと思えます。

Q きちんと挨拶ができていて感心します。
挨拶が出来る生徒と出来ない生徒の差があるように感じます。
校外外で、昔と比べて自主的に挨拶ができなくなってきているように感じます。
他の生徒は挨拶できているが、我が子はできていません。

A 挨拶は、「よい」という評価も、「昔と比べて出来なくなった」という評価もいただきました。地域の方々からも認められてきた墨坂中の挨拶のよさを今後も引き継いでいきます。

Q 中学において大事な学習意欲・コミュニケーション等の指導に欠けている点はないでしょうか。学年学級としての協力、仲間という意識がほしいですね。相手を思いやる心、大切です。仲間を大切にする。悲しい思いをしている生徒に気づいて、クラスで考えられるご指導をして頂けると、学校に行きたくない、教室に入れたい生徒が減ると思えます。
担任の先生がクラスの輪に入れたい子を思う気持ちはとても大切な事ですが、その子を思うだけで、他の子の気持ちへの配慮を考えて頂けなかった場面で親子共に傷ついた言動がありました。

A 互いに何でも話せる人間関係づくりと、誰にでも居場所のある居心地のよい集団、互いに尊敬し合い支え合える集団作りを目指し、全学級で実現できるよう努力していきたいと思えます。また、それぞれの立場の生徒に対する、適切な配慮、声かけ、対応等を一層大切に考えていきたいと思えます。

2 生徒指導

Q 生徒の行動や言動が、年々幼稚になっている気がします。他人に平気で嫌な言葉を発したり、よくそんな言葉を口から出せるものだと思えません。学校だけでなく、社会全体の課題なのではないでしょうか…。小中の連携をしっかりとってもらい、落ち着きのあるないがたよらないクラス編成をお願いしたい。

A 小中の連携をしっかりととり、個々の子どもたちの個性を尊重するとともに、様々な面からクラス編成を考えていきたいと思えます。

Q 支援学級の生徒がトイレに閉じ込められるなどして、からかわれているという噂を耳にしま

した。きちんと対応していただきたいです。

子どもたち同士のトラブル等もその場しのぎの対応をしている、本気で解決にもっていかうとしないように感じました。

バスケCMで、不得意な子達がバカにされたり、悲しい思いをしない様にしてほしいです。

A いじめは命に関わる絶対に許されない行為でありますので、毅然とした指導をぶれずに実践していきます。また、いじめは、いつでもどこでも起こりうるという前提で、日頃からアンテナを高くして見守っていきたいと思います。

Q 教室にストーブが出されて、プラスチックを燃やしている子どもがいるそうですが、室内ににおいが残っているにも関わらず何も指導がないのはどういうわけでしょうか。

色々と1学年の事を聴きます。問題が起きた場合、学校内で解決するのではなく、保護者も理解して解決しないとますます生徒の中で色々問題が起きると思います。言葉遣い、目上の人の態度など気になることばかりです。今現在墨坂中学校はあれていると外部の保護者から質問される事もあります。そういう話が外部に広がっていると聞きました。

A 1学期当初には、中学校の生活環境に対し、ギャップを感じている生徒が見られました。その点が改善されるまでの期間、多くの保護者や地域の皆様にはご心配をおかけしました。1年間を通して、段階的に行動が変化し、現在では、始業時間のけじめが身につく、授業態度も落ち着き、清掃にも真面目に取り組む姿が見られるようになってきています。また、何かあるときには、家庭と連携を取り、よりよい方向に改善されるように進めていきたいと思えますので、ご協力をお願いします。

Q 下校中よく遅くまでたむろっている子ども達がいる。危ないし迷惑である。

A 各学級で指導をしたり、職員による巡視等も実施したりします。

Q 冬場の登下校の際の靴は雪用のブーツやスニーカーで大丈夫でしょうか。

A 華美になりすぎないで安全に雪道を歩けるものであれば結構です。

3 教師の関わり・連携

Q 先生が生徒に対して、あだ名、変な呼名をつける事、その名で呼ぶことをしないでください。

A 不快な思いをさせたことにお詫び申し上げます。職員生徒間においても敬意表現を大切にし、職員の言葉遣いが生徒の見本になれるよう努めていきます。

Q 先生方の連携がとれていない様子が時折、感じられます。

A アンケートの④「先生方は、お互いに協力しながら、個々の生徒に合った適切な指導に当たっている」の数値の落ち込みも目を引きました。「命の大切さ・仲間の大切さ」や、学校には「一人ひとりが大切にされている雰囲気」があると、生徒一人一人が実感できる学校を目指し、職員一同「適切な指導と連携」をこれまで以上に大切に心がけていきたいと思えます。

4 学習について

Q 中1のこの時期になっても学習の遅れをとりもどすことができずにいます。授業中の態度が悪かったらしっかり怒ってほしいです。

授業を受ける環境になっていない教科があるようで、受けたいと思う生徒にとってはとても困ります。

一部の生徒が授業中に私語が多いため、先生が注意すると、授業が中断されてしまうため、集中して授業を受けられません。

A ご指摘ありがとうございます。教科担任が、『学習のきまり（墨坂中学校の生活 P12）』を意識した授業を心がけたり、担任との連絡を密に取り、充実した授業を目指していきます。授業態度等にかかわる課題に対しては、学級担任と教科担任及び教科担任間で連携をとり、解決を目指しさらに努力していきたいと思えます。

Q 部活動の時間をけすっても、この程度の学習成果しか出せないものかと正直失望しています。子供に丁寧に教えてくださる先生、しっかりやる気ある子に伸ばしてくださる先生は何人いらっしゃるのでしょか。残念です。

宿題をこなしているだけで、しっかり理解できていません。その結果がテストにも出てしまって、頑張っているのに残念です。

1年の下の子について3学年の上の子と比べ学習成績や基礎的な学力の定着等に大きな差があると感じます。宿題や単元ごと的小テストなど、継続的に取り組み、力をつけられるような工夫をしていただけるとありがたいです。テストの難易度についても1年にしては難しす

ぎると感じる教科もあります。授業の進め方や家庭学習の課題と合わせて、学校全体、学年全体で合わせをしていただきたいと思います。

特に1, 2年のテストの平均点が低いので改善策は？

A 各教科で学習の定着を図る手立てを以下のように考えています。また、テストの作成については、難易度を含め教科内で検討していますが、より適切になるように工夫していきたいと思ひます

国語：授業の始めに前時の振り返りをしています。テスト前には、ワークブックで定着を図るようにしています。また、テスト返却の時間を復習の機会と捉え、学習内容の再確認をしています。

社会：授業の始めに前時の振り返りの時間を取るようになっています。プリント学習の時に質問の時間を取ったり、学習問題について考える場面では一緒に考えたりするようにしています。また、テスト前には復習の時間を取るようになっています。

数学：授業の中で5分程度、練習問題に取り組んでいます。授業で理解した解き方をつかって類似問題を解き、できるようになったかチェックします。また3年生は、入試対策として、問1の基本問題を扱うなどして基礎力の定着を図っています。

理科：授業の始めに、その授業にかかわる知識や前の時間の学習内容を振り返る時間をとっています。プリント学習の時に、質問を受けています。また、一部の問題の解説を行い、学習内容を復習しています。

英語：本時の学習内容を確認する時に、前の時間の振り返りを行っています。ドリル問題を行う時には、一人ひとりから質問を受けています。

音楽：合唱・器楽の単元では、前時の学習を振り返りながら授業を行っています。できるだけ一人ひとりに声かけをしながら行っています。

美術：制作が中心ですので、随時質問を受けています。

保健体育：授業の中で、グループ内でアドバイスし合いながら活動をしています。わからないこと、できないことは随時質問を受けています。

技術・家庭：制作が中心ですので、随時質問を受けています。

Q 同じ教科の先生であっても、教科担当によって、課題が違ったりすることが疑問です。できるだけ、学力を上げられる課題を出して頂けるとありがたいです。

宿題・家庭学習の課題と合わせて、学校全体、学年全体で合わせをしていただきたいと思います。

A 教科担任により課題などの出し方が違わぬよう、できるだけ各教科内、学年で統一していきようにしていきたいと思ひます。なお、各教科の宿題については下記のように考えています。

国語：毎時間の授業の進み具合で、宿題の内容が変わることはありますが、基本的に教科内で統一しています。(漢字練習またはワークブックなど)

社会：教科会でなるべく統一しようと考えていますが、教科担任により、その授業に必要なことを宿題として出すことがあります。

数学：学年統一で宿題、プリントを配付しています。終末はプリントではなくノートに復習をしたり、問題集からページを指定して解いたりしています。

理科：教科担任により、その授業に必要なことを宿題として出すがありますが、これは教科担任により違いがあります。学校で購入したワークをテスト後に回収して、取り組み状況を確認していますが、これは、全学年・全クラスで行っています。

英語：主としてワークブック(めきめきEnglish)を家庭学習としてすすめています。授業内容によって、ノートでの単語練習や、英作文、教科書の音読練習などになる場合があります。テスト後にはワークブックを回収して取り組み状況を確認しています。

音楽：宿題は出していませんが、出す場合は統一して出します。

美術：宿題を出すことは、ありません。

保健体育：随時連携を図って、課題を統一しています。

技術・家庭：一人の教師が指導していますので、統一されています。

Q 授業でいつも5, 6人は寝ている授業が5教科の中にもあると聞きます。また、ただ説明したり一問一答で進めたりしている教科も多い様子を聞いています。宿題もただやらせているだけで、確認できないならば、自主学習する時間を保証していただいた方がよいと思ひます。教科書の内容を教えるのではなく、どのように考えるか、疑問を持つのか、問題を解決するのかを教えてほしいと思ひます。

A 教師主導でなく、生徒が「主体的・対話的で深い学び」が実現できるように、授業改善に努めていきたいと思ひます。学校の根幹は授業にあります。いただいたご意見を謙虚に受け止め、自分たちの授業を振り返り、今後も校内研究、校内研修、教育センター研修等の校外研修で、職員一人一人の授業力が向上していくように努めてまいります。

須坂市立墨坂中学校 学校だより

No. 9

文責：岡田 憲和

学校評価保護者アンケートの結果について（NO8の続き）

- Q いつもお世話になっております。昨年度の学校評価の結果でもご意見がありましたが、教科の進度や指導法に差があると子どもから聞きます。正直、子どもは安心して授業を受けられていません。特に、特定の学年教科です。
授業内容が先生によってだいぶ差があり、成績と子どものやる気に大きく影響を与えているように感じる。学習進度も不安です。
- A 各教科の教科会で、残り時数をカウントして予定を組んでいます。スライドの回り方によって多少の進度の差ができることもありますが、生徒たちに負担をかけないように、今まで以上に計画的に学習を進めていけるようにしていきます。また、テスト範囲はゆとりを持って終わらせるように今後も努力していきます。なお、各教科の授業の進め方は下記の通りです。

	1時間の授業について	年間を通して
国語	生徒の様子を見ながら、個人で追究する時間をとっています。さらに、全体で追究する時間やノートにまとめる時間も十分に確保して進めています。	概ね予定通りに進んでいます。学習内容の増加に伴い、単元によって軽重をつけて進めている場合もあります。
社会	教科会で生徒の実態に合わせた進度を打ち合わせたり、授業内で考える時間を確保したり、1年生については授業でのメモを取る時間を確保するなどしています。	1, 2学年は予定よりも若干遅れて進んでいます。3学年は概ね予定通りです。
数学	授業の中で、定着問題に取り組み生徒達の理解の様子を把握します。1人1人が考える時間を確保しながら、生徒の実態と学習内容によって、進め方を調整しています。	概ね予定通りです。3月の授業時数が少ないため、少し余裕がもてるような進度で進んでいます。
理科	生徒たちの様子を見て、ノートをとる時間を確保したり、実験観察の時間を十分に確保したりして、生徒がしっかり追究できるようにしています。	1, 2, 3学年ともに予定よりも若干遅れてはいますが、年度内には全単元が確実に終了するようにします。
英語	毎時間プリントで学習の手順を確認し、黒板に授業の流れやポイントを整理してノートにまとめやすくしています。またカードや絵・写真などを使い、視覚的にも理解がしやすくなるような工夫をしています。	全学年、若干ゆっくり進んでいます。単元を組み替えて進めていき、全単元が確実に終了するようにします。
音楽	学習カードへの記入の時間を確保し、生徒の様子を見て声かけをしながら進めています。	年間計画通りに進んでいます。
美術	特に進度が遅い生徒には声をかけるようにし、制作手順の確認を行うようにしています。	年間計画通りに進んでいます。
保健体育	各種目で練習時間や個人追究の時間を多く設定し、技能を高めた後、ゲームや記録測定を行うようにしています。	年間計画通りに進んでいます。各種目10時間程度、学習をしています。
技術・家庭	特に進度が遅い生徒には声をかけるようにし、製作手順の確認を行うようにしています。	予定通り進み、1・2年生は、10月上旬に分野が変わりました。

- Q 子どもたちの中で（友達同志のやりとりの中から）勉強にたいする意欲、テスト結果をみでの危機感など全く感じられず残念に思うことが多いです。（できなくてあたりまえの雰囲気）保護者、学校側でももう少し対応を考えていった方がいいと思います。
学習はまずいですね。生徒たちは別にテストが悪くても、高校に入学するためなら高校に行かなきゃいいとあまり深く考えてない様子です。これからの進路も何も考えてないし、これ

でいいのかと思うばかりです。進路指導についてもっと具体的なアドバイスを頂きたいです。

A 一年生から計画的に進路学習を進めていきます。進路学習は、キャリア教育の一環として、高校受検に向けてだけのものではなく、「子どもたち一人ひとりが社会人・職業人として自立していくために必要な能力や態度を身に付けさせる」という視点で取り組んでいます。1年生では、「自分を知る」学習や職業調べ、「働くということ」について考えることを行い、2年生への職場体験学習につなげています。2年生では職場体験学習を通し、働くこと、社会人になることを経験を通して学び、3年生では高校調べなど具体的な進路学習が中心となります。キャリア教育を充実させていくことを通して、学習意欲の醸成も図っていきたいと考えます。

Q 授業について、グループで話し合いをメインにさせている科目があるようですが、先生が手を抜くと子どもも分かります。先生が熱心だと子どももやる気になるようです。特定の授業で先生が教えてくれないと子どもから聞いています。グループワークで分かる子が分からない子に教えたり、自分達で考えて進めていくような授業は中学1年生には無理があると思います。

特定の授業の進め方に不満があります。先生がきちんと教えてくれずに子どもに考えさせている！！子どもからこんなに不満を聞いたことがありません。すぐ改善してほしいです。

A 生徒が主体的に学ぶことや学級グループの中で、協働的に学ぶことの重要性が指摘されており、新学習指導要領でも「主体的・対話的で深い学び」が大切にされています。こうした中で、自己の考えを広げ深める活動も必要になってきますが、学習活動を生徒の自主性だけに委ね、学習成果につながらない「活動あって学びなし」の授業にならないよう授業改善に努めます。

5 学校設備施設

Q 現在2学年ですが、1クラスの人数が多いせいか教室が狭いようです。ロッカーも小さいと思います。

A 教室については、市の計画による改修の予定はありません。生徒にも不自由を感じさせてしまっておりますが、ご理解の程よろしくお願いいたします。

Q トイレの改修を早くしてほしい（和式→洋式）エアコンも早くつけてほしかったのですが、今後つく予定と聞いたのでよかったです。

A トイレの改修については、市の計画により、来年度全面改修が行われます。改修後は洋式便座となり、多目的トイレも増設される予定です。また、エアコンについては、来年度、全学級及び特別教室の一部に設置される予定です。

6 行事について

Q 学校行事等は楽しみに参加しているみたいです。

3年間しかない中学校生活です。子どもたちは、仲間との宿泊行事を楽しみに思っています。仲間との親睦を深めたり、体験したりすることで得られるものも大きいと考えます。登山活動は安全面から考えて難しいのかもしれませんが、トレッキング程度でも良いので、1・2年生の夏に宿泊行事を計画していただきたいです。

A 1学年は自然体験学習として妙高青少年自然の家宿泊学習を次年度も計画しています。

2学年の登山については、長野県ならではの山岳自然体験学習として、比較的参加がしやすい乗鞍登山を現三学年までは実施してきました。しかしながら、最近の山岳事故、火山噴火等自然災害の影響もあり、生徒の命を優先し、リスクの多い登山は県下の中学校で行事の精選対象となってきているのが昨今です。また、授業日数の確保から行事の精選が進められ、2年生は職場体験学習もあることから、本年度の2学年より登山を廃止いたしました。2学年の行事は、職場体験学習を中心にを行い、その後は3学年の修学旅行に向けての事前学習に取り組んでいきます。

7 部活動指導について

Q 部活について。先生もお忙しいのは承知しておりますが、規律や礼儀などだけでも見て頂けたら嬉しいです。普段の部活動で放ったらかしで、たまに来た時だけダメ出しされても、子どもが納得できず、素直に受け入れられないと思います。

部活動の指導について、先生によって違ってしまうのはどうなのか。あいさつの仕方、マナーなど基本的なところを指導してもらえるとありがたい。ただただ怒られても子どもはわからないと思うので、自分で考える力をもっと子供が持てることが1番ですが。

部活動で、教えている量が少ないのに怒られる。生徒の力量（能力）で教員の態度がちがう。

顧問の先生の部活動への参加や指導が少なすぎる。ほとんど外部コーチに任せっきりで練習も少なすぎるため、子ども達のやる気もうせてしまう。もう少しきちんとした指導をして頂きたいです。

部活動の指導が残念に思います。

A 各部において、生徒の活動意欲がさらに向上するような声かけ、活動のあり方を考えたいと思います。学校としても、部活動は礼儀やマナーを身につける場でもあると認識しています。顧問の競技経験（活動経験）の有無に関わらず、生徒が社会に出るために必要な力をつけられるような指導をしていきます。部活動が、生徒の心身の成長の一助となるよう、教員（顧問）、部活動指導員、外部指導者、保護者間の連絡を密にとり、運営を進めていきます。

Q 部活の翌月の活動予定は月末ぎりぎりではなく、もう少しゆとりをもって早めに配付していただくと家庭では助かります。

A 活動計画、引率計画等は、可能な限り早めに配付するよう、顧問に周知していきます。

Q 部活動について、県の方針（須坂市の方針）に逆らって練習量が多すぎる。朝練（自主練）は学校側できっぱり中止してほしいです。

もっと部活動の時間をとってほしい。

部活動と社会体育活動の時間が多く、とても疲れています。テスト前にもっと休みの日を増やしてほしいです。

A 部活動は心身共に鍛える場であり、生徒の意欲ややりがい、喜びをもって活動しています。顧問を始め保護者の皆様も生徒の意欲を達成感に繋げて成長させたいと願っていることと思います。しかしながら、活動が負担になり過ぎてしまえばかえってマイナスです。活動の効率化を考え、朝の自主活動を含めよりよい方向を目指して検討していきたいと考えています。また、部活動の運営は「須坂市中学校部活動運営連絡協議会」で申し合わされた「須坂市中学校部活動等申し合わせ事項」を基本に、各中学校の実情に即して申し合わせ事項を取り決めて行っています。土日の部活動としての練習については、土日のどちらか半日ということになっています。また、部活動ではなく、社会体育・文化クラブとして行っている活動もあります。生徒によっては疲れが見られることもありますので、生徒の様子を見ながら各顧問が調整していきたいと思います。また、社会体育の活動時間は、生徒の健康や学校生活に支障のないよう十分配慮して決定することになっていますので、社会体育活動の主体となる保護者会とも連携をし、過不足のない最善策を検討していく方向で考えています。なお、テスト前の休みについては、「須坂市中学校部活動等申し合わせ事項」により、3日前で実施していますが、生徒の要望など多い場合は検討していきたいと思います。

Q 部活後に習い事がある子は部活を早退してもOKになればいいなと思います。

A 個々に事情があると思いますので、諸事情がある場合は、顧問と相談をお願いします。

8 家庭と学校との連携について

Q 学校に電話を入れた時、どの先生も快く対応してくださるので、とても親切で嬉しく思います。

欠席連絡をしようと8時を過ぎても留守電メッセージだったことがありました。

時間外の留守番電話対応について、考え方は賛成ですが、もう少し時間を延ばしていただきたいです。（朝の欠席連絡の可能な時間が短いこと・夕方先生にご相談がしにくいこと等）

A 留守番電話の切り替えでご迷惑をおかけしました。気をつけていきたいと思います。

本校の教職員勤務時間は8：15～16：45となっております。電話対応につきましては、7：50～完全下校時刻まで対応させていただいております。ご理解をお願いいたします。なお、緊急の場合は、市役所245-1400へご連絡ください。教育委員会から学校へ連絡が入ることになっています。

Q 現担任の先生は学級だよりをこまめに発行してくれてます。毎週金曜日に発行していただきます。とてもありがたいことです。感謝いたします。

学級通信を出していただきたい。学校の様子をもっと知りたいです。

学校行事が少なくなり、学校に行く回数も減って全体の様子など把握ができないのでよく分からないです。

A 学級通信については、各学級の状況等によって違いはあると思いますが、定期的に学年だよりの発行をし、学校での様子をお伝えしたいと思います。また、本年度はホームページをリニューアルしたり、学校便りも発行したりしていますので、継続していきたいと思います。

- Q 相談事に対して、慎重に対応していただき、力になって寄り添っていただき嬉しいです。先生の温かい言葉があるだけで、救われ力になることあるはず。あゆみ等での密かな温かい声かけを今後も続けてほしいです。
ご多用の中、教頭先生には話をきいていただきありがとうございました。しかし、学校に行き教頭先生に話をするまでかなり悩みました。「意見を言ったところで何も変わらない」という印象があるからです。
生徒からの相談にしっかりと耳を傾けて、一緒に考えて頂きたいと思います。
3年生の時に進路についての相談事等、真剣に受け止めてくださる先生がいてと有難いです。いろいろな先生がいらっしゃると耳にします。一度きりの中学生時代ですので、大切に、後悔をしないように過ごしてほしいです。とても親切な先生もいらっしゃり、クラス替えの時は子どもと一緒に不安です。
子供の話に前向きに寄り添って頂ける先生がいるので安心してはいますが、先生全体としてみたとき、不安があります。
担任の先生についての相談をしたかったがどこに、誰に、相談してよいのか分からなかったです。
学校に電話をすると先生の対応が悪いと思うことが良くあります。その先生に指導してもらっていて子ども達も同じ気持ちなのかと心配になる。
もっと先生方と気軽に話せたり、相談に乗ってもらえたらいいと思います。
子どもが担任に自分の意見（学級内で困っていることなど）を言っても少しも改善されていません。
何かあったら連絡をとということですが、本当に相談にのってくれるだろうか？と心配に思います。先生方も忙しいと思いますが、生徒・保護者から信頼される先生になって欲しいです。先生との連絡は子どもも親にとっても大切なことだと感じています。
生徒からの相談にしっかりと耳を傾けて、一緒に考えて頂きたいと思います。
子供達が気軽にカウンセラーへ悩みをはき出せる環境作りを望みます。
- A 保護者の皆様からの相談に対してはいつでも承りたいと思いますので、気軽にご相談いただけるように誠意を持って対応をしたいと思います。また、より気軽に学校へ連絡相談をしやすい雰囲気づくりを目指し、対応の改善と工夫をしていきたいです。ご相談がありましたら、気兼ねなく、直接担任や学校（教頭・養護教諭・生徒指導主事等）へご連絡ください。また、養護教諭（保健室）がスクールカウンセラー・相談員への相談受付の窓口になっています。図書館司書室も「心の教室」として、生徒がいつでも気楽に声をかけられるように用意しています。教育相談に関しては、担任と生徒の教育相談を位置付けていますが、生徒によって感じている心の距離を全職員が今以上に縮めるよう努力してまいります。
- Q 学年学級懇談会の時に保護者の方の参加が少ないので、もっと積極的に参加してもらいたい様子、学習の仕方等意見交換したいと思います。
- A より気持ちよくPTA活動に積極的に参加していただけるよう、呼びかけを行っていきます。
- 9 その他**
- Q 今後お便り等はネット配信を利用したらどうでしょうか。学校全体、学年、クラスに分けて配信できると思うので、ペーパーレスにもつながりよいと思います。
- A 貴重なご意見ありがとうございます。現在、まだネット配信については考えておりませんが、本年度ホームページをリニューアルし、学校だよりを掲載しております。
- Q 学年毎に職員の指導力が偏らないように先生方を配置してください。
- A 教員個々の持ち味が発揮されるように、適正な配置を心がけたいと思います。また、教員個々の指導力の向上に努めます。
- Q 先生方の「方」には敬意が含まれると思います。なので学校側が「先生方」と言うのは違和感を覚えました。すみません。同じ教育現場に勤務する者です。
- A ご指摘ありがとうございます。気をつけていきたいです。
- Q 学年会計の支出内容で学校予算で支払うべきものがまだまだあると思います。保護者の負担を減らすように更に努力していただきたいです。
- A 見直しを進め、保護者の皆様の負担軽減に努めたいと思います。
- Q 授業参観の授業内容を考えてほしい。ほぼ担任による授業で、他の授業が充実しているか等評価できない。
- A スライドの回りも含めて検討していきたいです。なお、授業参観日は終日参観可能ですので、ご都合がございましたら、ご参観ください。